

➤ 15日 土曜

ヨハネ



12:37 イエスがこれほど多くのしるしを彼らの目の前で行われたのに、彼らはイエスを信じなかった。

12:38 それは、預言者イザヤのことばが成就するためであった。彼はこう言っている。

「主よ。私たちが聞いたことを、だれが信じたか。主の御腕はだれに現れたか。」

12:39 イザヤはまた次のように言っているの、彼らは信じることができなかったのである。

12:40 「主は彼らの目を見えないようにされた。また、彼らの心を頑なにされた。彼らがその目で見ること、心で理解することも、立ち返ることもないように。そして、わたしが彼らを癒やすこともないように。」

12:41 イザヤがこう言ったのは、イエスの栄光を見たからであり、イエスについて語ったのである。

12:42 しかし、それにもかかわらず、議員たちの中にもイエスを信じた者が多くいた。ただ、会堂から追放されないように、パリサイ人たちを気にして、告白しなかった。

12:43 彼らは、神からの栄誉よりも、人からの栄誉を愛したのである。

12:44 イエスは大きな声でこう言われた。

「わたしを信じる者は、わたしではなく、わたしを遣わされた方を信じるのです。」

12:45 また、わたしを見る者は、わたしを遣わされた方を見るのです。

12:46 わたしは光として世に来ました。わたしを信じる者が、だれも闇の中にとどまることのないようにするためです。

12:47 だれか、わたしのことばを聞いてそれ

を守らない者がいても、わたしはその人をさばきません。わたしが来たのは世をさばくためではなく、世を救うためだからです。

12:48 わたしを拒み、わたしのことばを受け入れない者には、その人をさばくものがあります。わたしが話したことば、それが、終わりの日にその人をさばきます。

12:49 わたしは自分から話したのではなく、わたしを遣わされた父ご自身が、言うべきこと、話すべきことを、わたしにお命じになったのだからです。

12:50 わたしは、父の命令が永遠のいのちであることを知っています。ですから、わたしが話していることは、父がわたしに言われたとおりを、そのまま話しているのです。」

預言者は神のみこころを記しますから、「預言者イザヤのことばが成就するため」とは、すなわち神のみこころが成就するためということです。

ちなみに「主は…頑なにされた。」ということばからすると、人間の不従順は神が原因のようですが、そうではありません。ユダヤでは全てのことは神の主権によって起こるのだという信仰理解があったからで、実際には主がそれを許容なさったということです。

それはイエス様が謙遜な救い主であって、人を無理強いして入信させるような方ではないからです。まさにそれがイエスの栄光でありました。人を導くときは、その人に聖霊が働いてくださることを求めつつ、内側から変えられることを願いましょう。

信じていても人を恐れて告白しない者がいたことは残念ですが、今でもそういう人はいるでしょう。そのような人の信仰成長は難しく、恵に生きることとはできません。神の栄誉を求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

